

新たな公共交通サービスの需要推計結果について

1. 需要推計

①需要推計方法

$$\text{時間帯別の需要(利用者数)} = \langle \text{①対象となるトリップ数} \rangle \times \langle \text{②新たな公共交通の利用割合} \rangle \times \langle \text{③目的別時間帯活動割合} \rangle$$

$$\langle \text{①対象となるトリップ数} \rangle = [\text{対象トリップ}] \times [\text{外出回数}] \times [\text{拡大係数}]$$

[対象トリップ]・・・質問Bの以下の行動を対象とする。

- ・通勤・通学以外の目的（買い物・通院・その他）
- ・田原本町内々
- ・訪問の曜日：主に平日・どちらでもない
- ・行動時間帯：午前7時～午後6時台

※付添人は需要に含めない

[外出回数]・・・訪問頻度の回答から1日あたりの外出回数を設定。

- ・ほぼ毎日：22回/月 -----> 1.000回/日
- ・週に3～4回：14回/月 -----> 0.636回/日
- ・週に1～2回：7回/月 -----> 0.318回/日
- ・月に1～3回：2回/月 -----> 0.091回/日

[拡大係数]・・・サンプルの個人が何人を代表しているものかを示す値

$$(\text{=地区別年齢階層別人口} \div \text{回答者数})$$

・ 年齢別・地区別の拡大係数

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
旧町	50.7	37.0	19.5	28.2	12.8	15.4
川東(南)	23.9	20.1	15.9	19.4	11.0	13.4
川東(北)	26.6	18.6	15.1	16.7	9.1	14.7
多(西)	21.6	19.7	15.5	17.5	9.3	11.8
多(東)	34.6	27.7	17.3	15.4	12.4	15.9
都	20.9	22.8	12.7	16.7	9.3	12.2
平野	26.1	17.1	15.5	15.4	9.9	13.2

〈②新たな公共交通の利用割合〉

$$= [\text{利用意向別の利用割合}] \times [\text{利用条件に合致する人の割合}] \times [\text{往復利用(2.0)}]$$

〔利用意向別の利用割合〕・・・新たな交通手段の利用意向をもとに算定

- ・ 積極的に利用する..... 対象トリップの9割を利用
- ・ ときどき利用すると思う..... 対象トリップの5割を利用
- ・ 現時点では利用するかどうかわからない.. 対象外

〔利用条件に合致する人の割合〕・・・想定したサービスレベルを望ましいと回答した人の割合

（想定したサービスレベル）	
・ 運行時間帯（午前7時～午後4時） ----->	合致する人の割合（71.0%）
・ 運行目的地（町内の主要施設） ----->	合致する人の割合（86.1%）
・ 料金（300円） ----->	合致する人の割合（39.7%）
以上の積 ----->	（24.3%）

〈③目的別時間帯活動割合〉

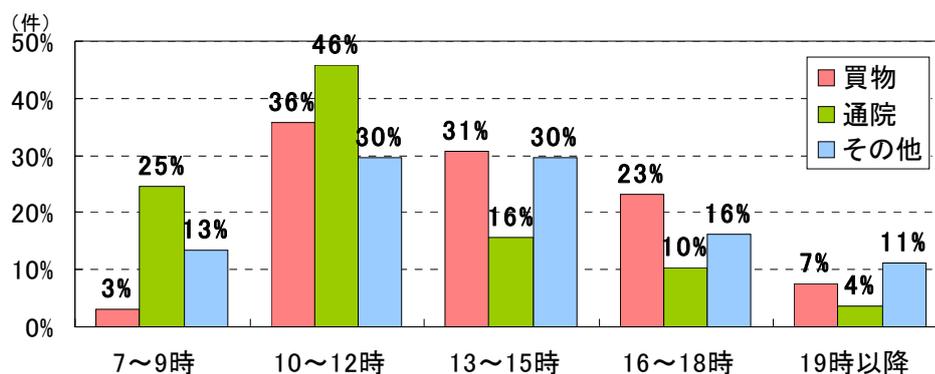


図-1 目的別活動時間帯分布

## ②需要推計結果

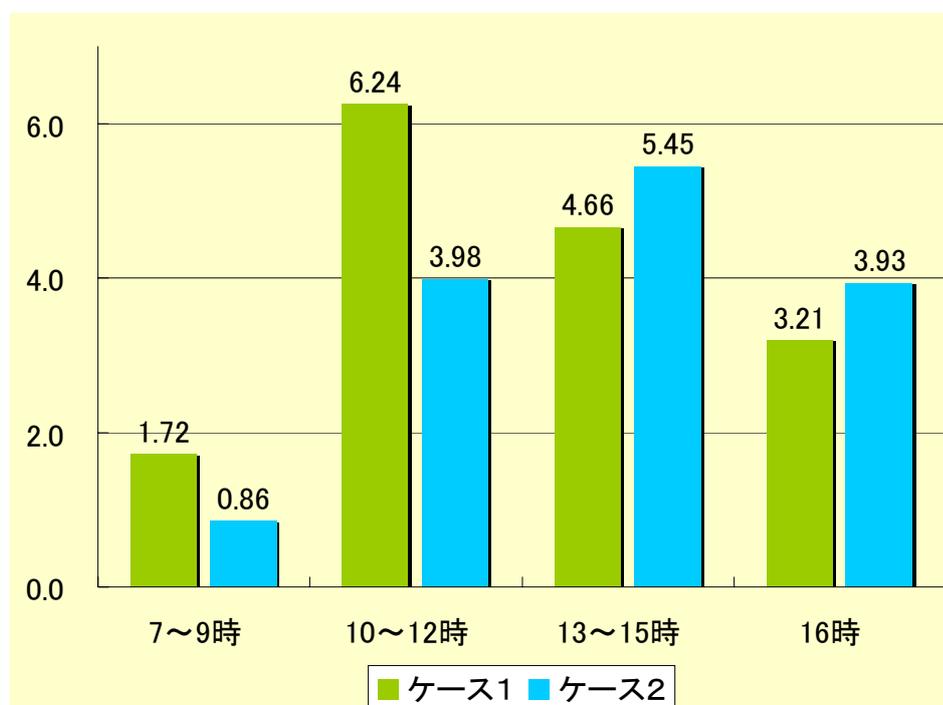
時間帯別の需要（利用者数）推計結果を図－1に、またこの推計結果のベースとなる現在交通手段別・年代別の時間帯別の需要を表－1（次頁）に示す。グレーハッチのかかった箇所（現在の移動手段が徒歩またはタクシー利用者および60歳代以下の自転車、バイク・原付、自動車利用者）は転換が考えにくいいため、それ以外を対象として需要数を算出している。

なお、算出にあたっては下記の2ケースを実施している。

〔ケース1〕行き帰りとも同じ時間帯を利用

〔ケース2〕帰りは次の時間帯に利用

その結果、ケース1では、最も利用が多いのは10～12時で6.24人/時、最も少ないのが7～9時台の1.72人/時となった。ケース2では13～16時台にかけての5.5人前後が最大利用となっている。



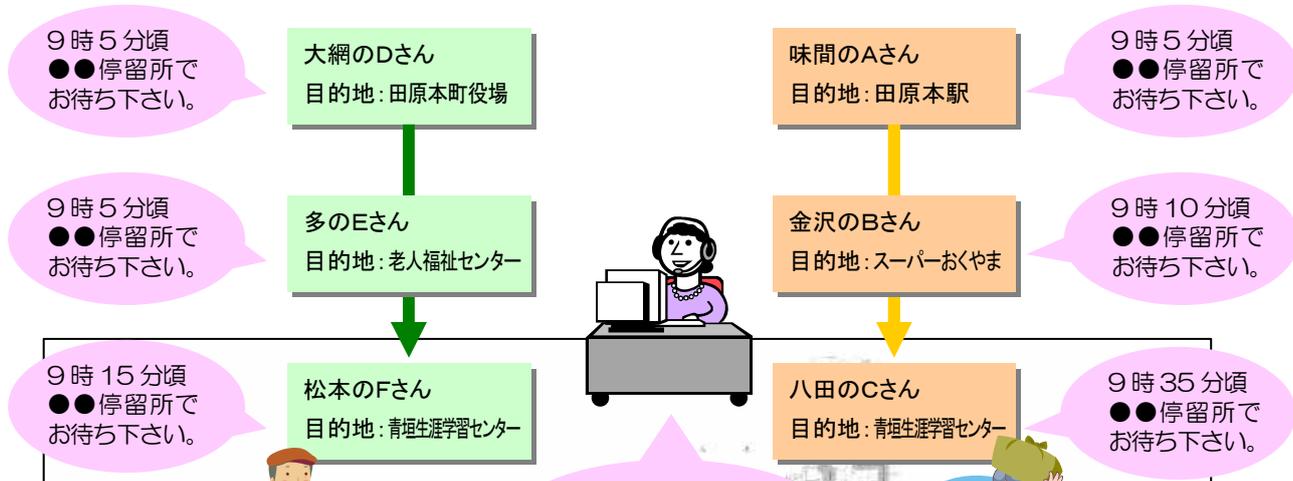
図－2 時間帯別需要推計結果（人/時）



デマンドタクシーの運行イメージ（午前 11 時台の便に 3 人の予約があった場合）

予約の順番（西）

予約の順番（東）



到着時間は5分ほど前後することがございます。

